

NGO かんたん評価ガイドライン

The Guideline for Simplified Evaluation



第 1.3 版

2017 年 12 月改訂

執筆者代表：佐々木亮（評価学博士）

国際開発センター（IDCJ）評価部

NGO かんたん評価ガイドラインについて

近年、NGO の間で事業評価が注目されるようになりました。それは次のような必要性に対応する必要があるからだとは私は理解しています。

- ・自分たちの事業のどこに問題があってどう改善すればいいのを知りたい。
- ・自分たちが実施している事業が本当に効果があるのかどうかを確認したい。
- ・資金支援者に、支援を受けて実施している事業は効果があると示したい。

一方で、多くの NGO では、評価を実施した経験がないのでどうすればいいかわからない、本来の活動が忙しくてとても評価を実施している時間がない、といった現実に直面する場合があります。

そこでこのかんたんガイドラインでは、1日のできる簡単な評価の手順を解説しました¹。本文はわずか7ページです。しかし、「簡単」とは言え、正式な評価理論に基づいています²。そして、評価の目的は大きく言って、事業改善への貢献と、説明責任の遂行の2つがあり、このガイドラインに従って評価を実施すればどちらも実現するように工夫されています。

このガイドラインが、NGO の皆様方のお役に立てば幸いです。

著者を代表して
佐々木 亮

<著者からの謝辞> このガイドラインは、国際開発センターが主催した「NGO 事業評価勉強会」(2012年)の議論を通じて作成されました。末筆になりましたが、同勉強会に参加いただいて事例発表およびガイドライン案へのコメントをいただいた NGO 有志の方々にこの場を借りて深く御礼申し上げます。とくに、有益なコメントをいただいた田中博氏(参加型評価ファシリテーター・ヒマラヤ保全協会)、伊藤静香氏(NPO 法人参画プラネット)に感謝致します。

<著者からの留意事項> 本書が最小限の手順を提供しますが、一方で、評価には学問的にも確立した多用な手法が存在し、それぞれの評価アプローチには長所・短所があることを理解することは重要です。さらに本格的に評価を勉強したい方々には「参考文献」にあげた文書をダウンロードして使用することをお勧め致します。

¹ また、さらにもう1日現地作業の時間があれば実施したい定量的なデータ収集分析作業についても解説しました。

² 正式な評価理論に興味のある方は参考文献をご覧ください。このかんたんガイドラインのベースとなった姉妹版2冊も無料で入手できます。逆に言えば、このかんたんガイドラインはその姉妹版2冊の簡略版であるとも言えます。

NGO かんたん評価ガイドライン
目 次

1. 事前準備	1
2. 1日現地作業の実施	1
3. 事後作業（報告書作成）	2
（追加：もし2日目の現地作業日が確保できたら・・・）	8
よくいただく質問と回答	11
別添：英訳	13
参考文献	17
著者等の紹介	18

1. 事前準備

現地調査を実施する前に、評価チーム³のメンバーで会合を開いて、現地調査の手順とスケジュールをよく吟味して計画を立てます。ポイントは次の2点です。

計画のポイント

- 限られた時間を最大限有効に使うような現地調査を計画します。
- 三角検証法（Triangulation）を実施するように計画します。つまり、複数の情報収集方法を用いて、確かな情報を集めることを試みます。

2. 1日現地調査の実施

1日現地調査の具体的な作業を以下のとおり実施します。表敬訪問のあとの、具体的なデータ収集方法は、(i)情報保持者インタビュー、(ii)直接観察、(iii)グループインタビューの3つです。主に定性的なデータ収集が中心になります。これだけでも評価は可能ですが、2日目も確保して、後述のミニサーベイを実施すると、定量的・定性的にバランスのよい評価が可能となります。

10:00-12:30 (2.5時間)

作業 1: 表敬訪問 (0.5時間)

- 現地コミュニティのリーダー（例：村長など）を訪問します。
- 事前に作成した1枚紙を持参して説明します。内容は、(i)事業概要、(ii)評価の目的、(iii)現地調査のスケジュールとインタビュー対象者の3点を記載しておきます。

作業 2: 情報保持者インタビュー (2件) (2時間)

- 事業を実施した現地の状況をよく知る人に対してインタビューします。事業実施前から事業実施後の現在まで現地に居住してきた年配の方がいいでしょう⁴。
- 「情報保持者インタビュー」(“Key Informant” interview)の基本的な考え方は、現地に長く住んでいる人を「現地に長期に滞在している観察者」とみなして情報を得ることです。ただし、訓練を受けた観察者というわけではないので、その人の話は事実と本人の感想が混在しているのが普通です。その話の中から、評価に必要な客観的事実を抽出するのが、評価者の腕の見せ所です。
- インタビューは、1件ではなく2件以上行うのが望ましいです。(1時間×2件 = 2時間)
- 以下の質問を以下の順番ですることが勧められます。

³ 具体的な評価チームの構成は、後掲の「よくいただく質問と回答」の1番題をご覧ください。

⁴ 現地コミュニティのリーダーなどに事前にインタビュー対象者を選定しておいてもらいます。

- (i) 「事業実施の出来不出来はどうでしたか？（当初の見込みどおりに実施されましたか？）」
- (ii) 「事業が目指した直接的効果は実現しましたか？」
- (iii) 「その他に、人々の生活に及ぼした副次的効果はどんなことがありましたか？（良い効果とそうでない効果の双方があるはずですが？）」
- (iv) 「将来の事業実施の改善のための提言案は何が考えられますか？」



(情報保持者インタビューのイメージ)



(直接観察のイメージ)

使えるテクニック1:ロジックモデル（論理モデル）の構築

「直接的効果」や「副次的効果」として、事業が何を目指したかはどのようにして分かるのでしょうか？事業開始の時点では明確には意識されていなかった場合が多いと思います。そこで、いわゆるロジックモデル（論理モデル）の考え方が参考になります。評価チーム内で話し合っ、次のフローチャートを現地調査実施前に作成してみると、事業が目指した中間アウトカムと最終アウトカムがなんであったかがはっきりするはずです。

	投入	=>	活動	=>	活動結果	=>	中間アウトカム	=>	最終アウトカム
例1:保健事業	人・金・物・その他		ワクチン投与の実施		ワクチン接種を受けた児童数		病気の発生数・率の低下		学校出席日数の増加など
例2:教育事業	人・金・物・その他		教員研修の実施		教員研修を修了した先生の数・率		授業の質の増加		学年末テストの点数の向上
例3:小規模灌漑事業	人・金・物・その他		灌漑施設の建設		灌漑施設の稼動（灌漑実現）		農業生産の増加		農家の生活水準の向上

あなたの事業は? [] [] [] [] []

⁵ 「直接的効果」を英語では Intermediate Outcome (中間アウトカム)、「副次的効果」を英語では Final Outcome (最終アウトカム) と呼ぶのが一般的です。後掲する英語版ではその用語を使っています。

13:30-15:30~16:00 (2~2.5 時間)

作業 3: 直接観察 (1 時間)

- 事業現場を訪問します。現地の人に案内してもらおうといいでしょう⁶。現地の案内人から話を聞きつつ、以下の作業を実施します。また写真も撮ります。(以下の例は、小規模灌漑事業の事例です。)

- (i) 施設を観察して、適切に機能しているかどうかを観察します。
- (ii) 施設の周辺を歩いて、農業生産等の直接的効果を観察します⁷。
- (iii) 施設の周辺の農家を何件か訪問して、生活に及ぼした副次的効果について話を聞きます。
- (iv) 将来の事業実施の改善のための提言案を考えます。

作業 4: グループインタビュー(1~1.5 時間)

- 事前に招待していた数人の「平均的な」受益者をグループとしてインタビューを行います。円になって座って行います⁸。
- インタビュアー (評価グループのメンバー⁹) は次のことを行います。(i)自己紹介をします。(ii)インタビュー結果を刑罰や課税には用いないことと議事録は匿名で作成することを保証することを宣言します。(iii)ボイスレコーダーの使用に関して許可を得ます (もし用いる場合)。(iv)各参加者に簡単な自己紹介を促します。
- 以下の項目ごとに、受益者に順番に答えてもらいます¹⁰。

- (v) 「事業実施の出来不出来はどうでしたか? (当初の見込みどおりに実施されましたか?)」
- (vi) 「事業が目指した直接的効果は実現しましたか?」
- (vii) 「その他に、人々の生活に及ぼした副次的効果はどんなことがありましたか? (良い効果とそうでない効果の双方があるはずですが?)」
- (i) 「将来の事業実施の改善のための提言案は何が考えられますか?」

⁶ 現地の案内人は、インタビューした「情報保持者」とは別の人が望ましいです。

⁷ おそらく観察しただけだと分からないので、現地の案内人から話を聞いて適宜判断します。時間があれば、事業を実施した地区と、事業を実施していない地区の双方を訪問すると違いがはっきり観察できるはずです (両地区の写真を撮って、あとで報告書に掲載するとより効果的です)。

⁸ ただし、途上国の現場では、「平均的な」受益者を考えることが難しい場合もあります。その場合には、男性グループ/女性グループ、若年グループ/中年グループ、特定の特徴を持ったグループなどの小グループに分けて実施することが勧められます。調査メンバーは3~4人いるはずですから、それぞれの小グループを担当して司会をします。

⁹ グループインタビューのインタビュアー (モデレーターと呼んだりもします) は、(i) 中立的な立場の人で、(ii) 親しみやすい性格の人で、(iii) 現地語が出来る人が向いています。評価チームに適当な人がいない場合には、現地の大学の先生や現地 NGO の職員に謝金を払って実施してもらおう方法もあります。また、場合によりますが、ジェンダーバイアスを除去する観点からは女性であることが勧められます。一方、事業実施者である NGO の理事長などがインタビュアーになるとインタビュー結果に強力なバイアスがかかるのが普通ですので避けるべきです。

¹⁰ グループ「ディスカッション」ではなく、グループ「インタビュー」なので、参加した受益者間の議論を避けるようにしてください。なお、現象の原因を探るなどの学術調査的な目的の場合には、グループディスカッションは有効な手段ですが、インタビュアーに高度な技量と豊富な経験が求められます。評価の場合には、グループ「インタビュー」にとどめておくのが無難でしょう。



(グループインタビューのイメージ)

3. 事後作業

現地調査から帰ってきたら、次の作業を実施します。

- (i) インタビュー議事録および直接観察メモを作成します。
- (ii) 評価チーム内でよく話し合っ、評価結果に関して合意します。
- (iii) 評価報告書を取りまとめます。

以下に評価報告書の目次案を示します。

タイトル：〇〇事業評価報告書

評価者：〇〇〇 (あなたの名前)

はじめに

現地写真

1. 評価チームのメンバーと現地調査スケジュール

- メンバー名：チームリーダー:〇〇、メンバー 1:〇〇、メンバー2:〇〇
- 現地調査日：2013年〇月〇日 - 〇月〇日

2. 事業の概要

- 事業の概略を記載する。(対象地域、事業期間、投資金額等)
- ロジックモデル(論理モデル)を作成した場合にはここに掲載する。

3. 評価結果

3-1. 事業実施の良し悪し¹¹

3-2. 事業の中間アウトカム¹²

3-3. 事業の最終アウトカム¹³

3-4. 総合評価 (3-1, 3-2, 3-3 の評価結果を総合した評価結果)

¹¹ (i)特定された事実、(ii)それを踏まえた評価者による評価結果に分けて記載するとよい。

¹² 同様に(i)特定された事実、(ii)それを踏まえた評価者による評価結果に分けて記載するとよい。

¹³ 同様に(i)特定された事実、(ii)それを踏まえた評価者による評価結果に分けて記載するとよい。

3-5. 提言

別添

- 情報保持者インタビューの議事録（名前は匿名（例：村人 A,B,C）で作成する）
- 直接観察の観察結果メモ
- グループインタビューの議事録（名前は匿名（例：村人 1,2,3）で作成する）

知っておいて得する知識：そもそも評価とは何か？

評価の定義としてもっとも適切なものは「評価はものごとの価値を明らかにすることである」という定義です(Scriven, 1991)。この定義は、単なる事実特定に留まらずに、特定された事実に基づいて何らかの価値判断を下してはじめて評価足りえるということを端的に示しています。調査 (Research) が事実特定に主眼を置いているのに対して、評価は特定された事実に基づいて何らかの価値判断を下すことに主眼を置いています¹⁴。

$$\begin{array}{ccccc} \boxed{\text{評 価}} & = & \boxed{\text{事実特定}} & + & \boxed{\text{価値判断}} \\ \text{(Evaluation)} & & \text{(Factual identification)} & & \text{(Value determination)} \end{array}$$

それでは誰の価値観に基づくべきなのでしょう。それは、受益者あるいはより広く対象地域の住民の価値観に基づくべきなのです。しばしば事業実施者とか資金支援者とも言われることもありますが、事業実施者が事業を通じて目指していることは対象地域の住民の生活の改善でしょうし、資金支援者が知りたいこともやはりどれほど対象地域の住民の生活が改善したかということでしょう。つまり、究極的には対象地域の住民の価値観に基づくということなのです。

「評価は社会の改善活動である」と言われることもあります。対象地域の住民の価値観に真摯に沿い、当該住民の生活の改善を実現していこうとするのが評価の本来の姿であり、それは、NGO が実施する事業と目指すところは全く同一なのです。

¹⁴ したがって、「たいへん良かった (A)、良かった (B)、どちらとも言えない (C)、悪かった (D)」とか「たいへん満足できる (A)、満足できる (B)、どちらとも言えない (C)、不満足である (D)」など、価値を表す言葉で明確に書かれた評価結果が良い評価結果だということになります。

(追加:もし2日目の現地作業日が確保できたら・・・)

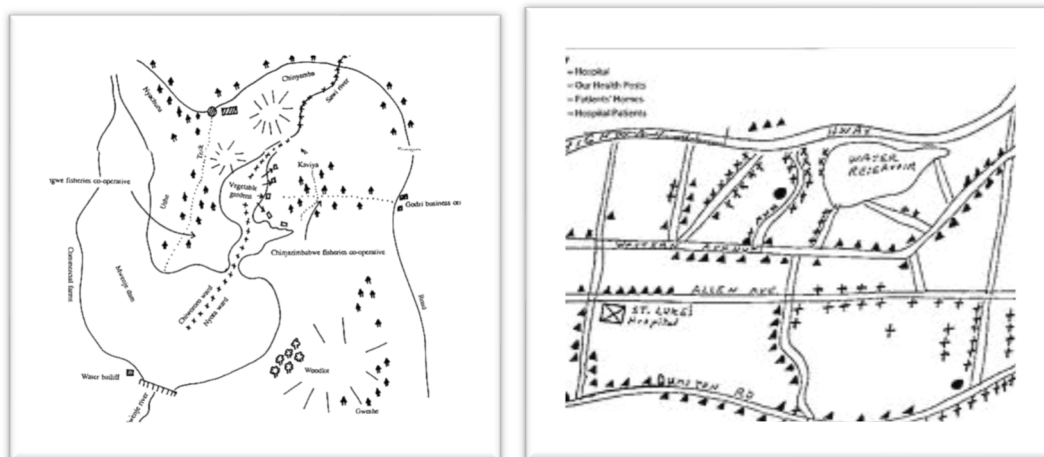
もし2日目の現地作業日が確保できたら、ミニサーベイを実施することをお勧めします。ミニサーベイは、直接的効果と副次的効果に関して、定量的なエビデンス (証拠)を提供します。

ミニサーベイの手順

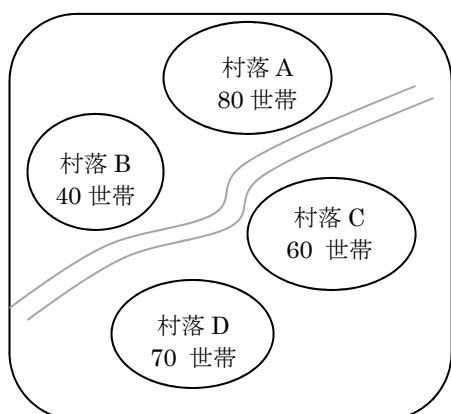
1. サンプリング (インタビューする受益者 (世帯・生徒・受診者等の選択))

- 最小のサンプル数は 25-30 とすべきです。ただし、それ以下であっても (統計的な正確さが下がるだけで) 有益な情報を提供します。
- 対象地区のラフな地図を用意します (既存の地図があればいいですし、なければコミュニティリーダーや情報保持者とともに手書きします)。そして、対象地区全体の世帯数を特定します (およそで十分です)。そして、一定の間隔で、訪問する世帯を決定します¹⁵。

必要な情報	適用事例	あなたのケース
対象地区全体の世帯数 (およそ) (a)	100 世帯	
サンプル数の決定(b)	25 世帯	
一定の間隔の決定 (=a)/(b)	4 世帯ごと(=100/25)	



(手書き地図の例)

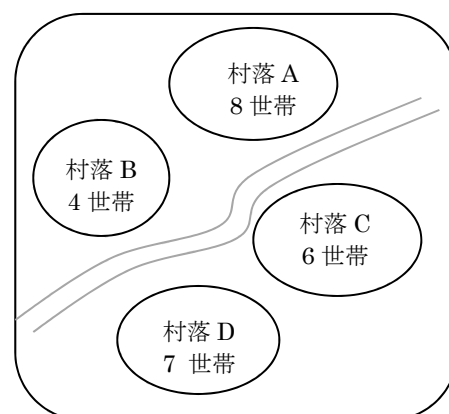


総人口: 約 250 世帯

ラフな地図を手書きして、総世帯数を特定し、一定の間隔で訪問する世帯を決定する。



例えば、もしサンプル数を 25 世帯とするならば、それぞれの村で 10 世帯間隔で訪問することになる。



サンプル数 25 世帯

(サンプル世帯の選定のイメージ)

¹⁵ 一般的に見られる過ちは、対象地区の限られた地区から (例: 村落Aのみから) 全てのサンプルを選定して、対象地区全体を代表しているはずだと言ってしまうことです。そうではなくて地区全体から等間隔で選ぶことが必要です。

2. インタビュアーの作業分担

それぞれのインタビュアーが何件ずつ訪問するかは、評価チームのメンバー数によります。なお、現地 NGO などの職員に謝金を払ってインタビュアーとして参加してもらおうと比較的簡単に数を増やせます（訪問インタビューに慣れている人が望ましいです。いずれにせよ事前に訓練時間を取る必要があります）。

必要な情報	適用事例 1	適用事例 2	あなたのケース
インタビュー総数(a)	25 世帯	30 世帯	
評価チームのメンバー数 (b)	5 人	6 人	
一日何件訪問するか (=a/b)	5 世帯/日(=25/5)	5 世帯/日(=30/6)	

3. インタビューのための訪問スケジュール

ラフな訪問スケジュールは次のとおりです。現地の状況に合わせて適宜アレンジしてください。

午前 (9:00-12:30 (3.5 時間))	準備: 0.5 時間	インタビュー: 1 時間 x 3 世帯
午後 (13:30-16:00 (2.5 時間))	インタビュー: 1 時間 x 2 世帯	取りまとめ: 0.5 時間

4. インタビュー項目

- 最初に、訪問の目的と、インタビューが 1 時間以内で終わることを説明します。
- 次に、インタビュー結果を刑罰や課税には用いないこと、インタビュー記録は特定で作成することを保証することを伝えます。
- 事前に用意した記入表に沿って、次の項目をインタビューします。

(i) 「事業実施の出来不出来はどうでしたか？（当初の見込みどおりに実施されましたか？）」	
	レーティング：たいへんよく実施された (4) – よく実施された (3) – どちらとも言えない (2) – 一部問題があった(1) – たいへん問題があった(0)
	コメント:[]
(ii) 直接的効果	
	「事業実施前 (〇〇年) の生産量はいくらくらいでしたか」 [トン]
	「事業実施後 (〇〇年) の生産量はいくらくらいですか」 [トン]
(iii) 副次的効果	
	「事業実施前 (〇〇年) の家族の生活水準はどのレベルでしたか？」 [レーティング 1~5:]
	「事業実施後 (〇〇年) の家族の生活水準はどのレベルですか？」 [レーティング 1~5:]
(iv) その他の副次効果:「事業実施によって、家族の生活に及んだ他の副次的効果はありましたか？」	
	コメント:[] []..
(v) 「将来の事業実施の改善のための提言案は何が考えられますか？」	
	コメント:[] []..

5. データの入力と分析（現地調査から戻ってからの作業）

- エクセルの「データ分析」¹⁶を使います。入力の体裁は以下の図のようにします。
- 記述統計（平均値、標準偏差、最大値、最小値など）を実施します。質問ごとに、回答の分布図（ヒストグラム）もぜひ添付してください。必要があれば統計テストも実施してください。
- 分析結果は、評価報告書の適切な場所に挿入してください。また、データも別添資料として添付してください（匿名処理がしてあることを常に確認してください。この場合だと、世帯 ID (HH_ID) が単純な通し番号になっています。）。

	A	B	C	D	E	F	G	H
	HH_ID	(i)_Implementation(rate)	(ii)_Effect_before_(NRs)	(ii)_Effectiveness_after	(iii)_Impact_before(Rate)	(iii)_Impact_after(Rate)	(v)_Other_impact	(v)_Idea_improvement
1	1	4	12,000	23,000	3	4	"I built a house"	"Use steel part"
2	2	3	15,000	16,000	2	3	"Nothing"	"Monitor water level"
3	3	4	9,000	17,000	3	4	"I bought a car"	"Reduce fee"
4	4	3	5,000	9,000	4	4	"I built a house"	"Increase the area"
5	5	2	4,500	12,000	2	4	"Dignity increased"	"Prohibit stone collection"
6	6	4	16,000	14,000	2	3	"Nothing special"	"Project water source"
7	7	3	7,000	8,000	1	2	"Nothing special"	"More M&O activities"
8	8	2	11,000	12,000	2	2	"I got a job"	"No idea"

¹⁶詳細は、NGO インパクト評価 10 ステップー質問票とエクセルの操作手順付きですぐ使える小規模事業インパクト評価ガイドラインー」をご覧ください。

よくいただく質問と回答



質問1 評価チームは誰を選ぶのが良いのでしょうか。事業を実施した担当者が適切なのか、あるいは担当していない人が評価をする方が良いのでしょうか。

なるべく外部の有識者に依頼するのが望ましいですが、資源が限られている場合には、当該 NGO の事務局長（あるいはその他のシニアの職員）が担当することも受け入れられます。前者は「外部評価」と呼ばれ、説明責任の遂行に威力を発揮しますし、後者は「内部評価」と呼ばれ、事業実施の改善により適しているとされます。具体的には、以下のような 3~4 名の構成とすることが望まれます。

- (i) 構成案 1（「外部評価」として実施）：外部の有識者（知り合いの大学の先生）、現地のローカルの有識者（現地の大学の先生）、現地ローカルスタッフ 1~2 名で、合計 3~4 名。
- (ii) 構成案 2（内部評価として実施）：当該 NGO 本部の事務局長（あるいはその他のシニアの職員）、当該 NGO 本部のジュニアの職員、現地ローカルスタッフ 1~2 名で、合計 3~4 名。

なお、いずれの場合も、当該事業の事業責任者が評価チームの一員になることは望ましくありません。



質問2 現地調査（第一日目）を担当するのは一人ですか。たとえば、情報保持者インタビューやグループインタビューを行うときに、聞き手が複数人になってもよいですか。また、複数人のときの役割分担はありますか。

情報保持者インタビューもグループインタビューもインタビューする人は一人とするべきです。つまり威圧的にならずに一对一で会話するスタイルを演出することが重要なわけです。ただし、その他にメモを取る人がいても構いません。また、インタビューに参加せずに周辺で見ているメンバーがいても構いません（ただしあくまで目立たないようにしてください）。



質問3 インタビューした内容を相手に確認する必要はありますか。

インタビュー終了後の後日に、インタビュー結果のメモを相手に渡して確認してもらうことは望ましいですが、現実的にはその時間はないことが多いです。匿名性を保持すれば、インタビュー内容を相手に確認する必要はありません。むしろ、インタビューした人とメモを取った人、あるいは周辺で見っていたメンバーとの間で確認し合ひましょう。



質問4 子どもを対象にした事業の場合は、誰にインタビューするのがよいのでしょうか。子どもを相手にインタビューはできますか。

場合によります。教育支援事業に関して、教室内で先生の言うことに興味を持てるようになったかとかよく学べるようになったかなどであれば、子供に直接インタビューして構いません。逆に家庭内暴力の経験や自然災害の経験などを子供に聞くことは望ましくなく、その場合は親を対象とすべきです。現場の事業実施者の意見を参考にしながら、評価チーム内でよく話し合って判断してください。



質問5 事後作業として、チームで評価結果をまとめるときの判断基準がむずかしいです。「たいへん良かった」と判断する場合に何を基準するのか、自分たちで決めてよいのか、迷います。

「たいへん良かった」「良かった」「良くなかった」などの判断を下す場合、価値判断の基準は、すべからず地元の受益者の価値基準を用いるべきなのです。ただし現実には、難しいと感じることも多いのですが、インタビューなどでじっくり話を聞いて、何が実現したかを明らかにして（事実特定）、受益者が何を望ましいと考えているか（価値基準）を明らかにして、そして、受益者とともに価値判断していくという作業をはずすことはできません。

別添：英訳

Annex: Steps in Simplified Evaluation (in English)

Basic concept

- Triangulation is very important.
- It is important to make a good plan of field visit to maximally utilize the limited time at field.

Let's make an image of one-day field visit. In the following plan, three data collection methods are applied ((i) Key informant interview, (ii) Direct observation and (iii) Focus Group Interview)

One-day Field Visit

10:00-12:30 (2.5hrs)

Job 1: Courtesy call (0.5 hrs)

- Visit and see the leader of the target group (LDO, Village leader, group leaders)
- Prepare one-page paper and explain it. ((i) description of the project, (ii) purpose of monitoring and (iii) schedule of field visit)

Job 2: Key informant Interview (2 interviews) (2 hrs)

- Conduct face-to-face interviews to selected persons who know the situation well.
- The basic concept of "Key Informant" is to use the person who know well the situation as a "proxy monitors" who lives there and thus has monitored implementation, intermediate outcome and final outcome of the project for long period.
- Interview them by following question by following order.

- (ii) His/her observation of implementation of the project;
- (iii) Intermediate outcome of project on production/education/health etc.(it depends on project nature);
- (iv) Any other final outcome on living standards of people;
- (v) Recommendations for improvement or future implementation.

Useful technique: Construct of Logic Model (Program Theory)

How can we identify "intermediate outcome" and "final outcome"? Those would not have been clearly identified at the start of your project. In that situation, it would be very nice to construct "logic mode" (in other word "program theory"). By conducting an intensive discussion in your evaluation team and making the logic model, (i) intermediate outcome (=intermediate & direct effect) and final outcome (=final & indirect effect) will be clarified.

	Input	=>	Activity	=>	Output	=>	Intermediate outcome	=>	Final outcome
E.g.1: Health project	Staff time, money, infrastructure, others		Distribution of Vaccine		# of children vaccinated.		Decrease in # & rate of disease.		Increase in school attendant, etc.
E.g. 2: Education project:	Staff time, money, infrastructure, others		Conduct of teacher training		# of teachers trained		Improvement of quality of class teaching		Improvement of test scores at the end of school year
E.g.3: Small-scale irrigation project:	Staff time, money, infrastructure, others		Construction of irrigation facilities		Areas of land irrigated.		Increase in agricultural production		Improvement of living standard of farmers.
What about your project?	()		()		()		()		()

13:30-16:30 (3 hrs)

Job 3: Direct observation (1.5 hrs)

- Visit the project site, take photos, and conduct the followings.(e.g., irrigation project)

- (v) Watch the facilities in order to assess if it appropriately functions or not.
- (vi) Go around the facilities and assess the intermediate outcome on production
- (vii) Go and see the households around in order to assess the living standards of people.
- (viii) Think/get recommendations for improvement or future implementation

Job 4: Focus Group Interview (1.5 hrs)

- Conduct interview with 4-6 average people (e.g., farmers) which should be invited in advance.
- Introduce yourself and assure interview result not to use for any punishment/taxation/etc.
- Get permission of using a voice recorder if you use.
- Ask self-introduction of each participant.
- Conduct group interview about the following items.

- (viii) "How do you see the implementation of the project? Well implemented or not?"
- (ix) "Do you see any intermediate outcome on your production/education/health/etc.?"
- (x) "Do you see any other final outcome on your living standard due to the project?"
- (xi) "Do you have any idea of future improvement of the project?"

After you come back to the office, please make a field report. Sample format of the report is as follows.

Title: Field Visit Report on XXXX (Project Name)
Name: XXXX (Your name)

Preface
Photos

1. Members and Schedule and of Field Visit
Members of Field Visit: Team Leader: XXX, Member 1: YYY,
Date: XX/XX/2013 – XX/XX/2013
Schedule: 1st day KTM ~ XXX ~ YYY ~ ZZZ.
2. Description of the Project
Brief description of the project is written (Project site, Project duration, Money invested, etc.)
3. Findings
 - 3-1. Implementation of the project
 - 3-2. Intermediate outcome of the project
 - 3-3. Final outcome identified
 - 3-4. Overall conclusion
 - 3-5. Recommendations

Annex

Meeting minutes of Key Informant Interview
Meeting minutes of Direct Observation
Meeting minutes of Focus Group Interview

If you have a second day in your field visit....

- It is good to conduct a Mini Survey.
- It will provide more accurate information about intermediate outcome & final outcome as quantitative evidence.

Instruction of Mini Survey (25-30 households)

6. Sampling (Selection of interviewed household)

- Minimum number should be 25 -30. However, it is still useful if it is less than that.
- Identify the rough number of population HH in the area and visit the same interval (but it should be practical within the limitation of time).

Information needed	Example	Your case
Rough estimation of population HH (a)	100 HH	
Decide number of samples (b)	25 HH	
Interval of visit (=a)/(b)	Every 4 HH	

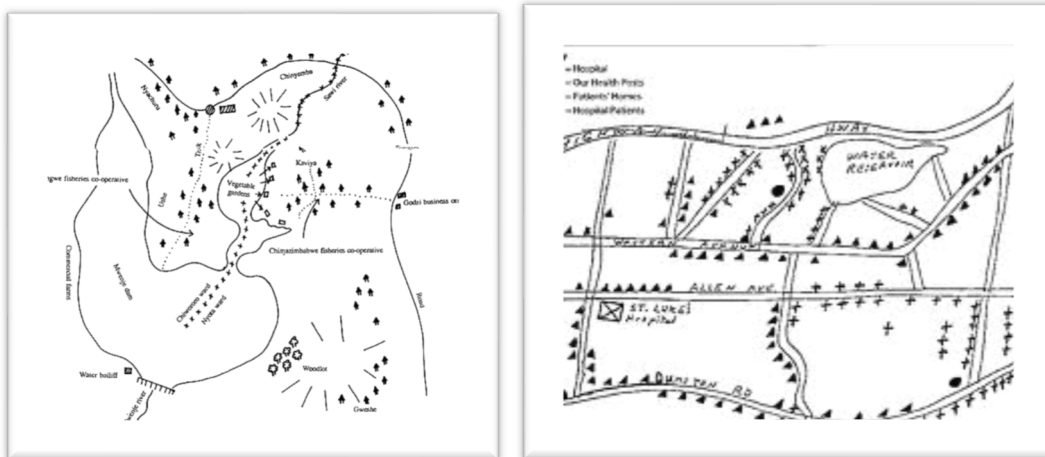


Figure1: Example of hand draw maps

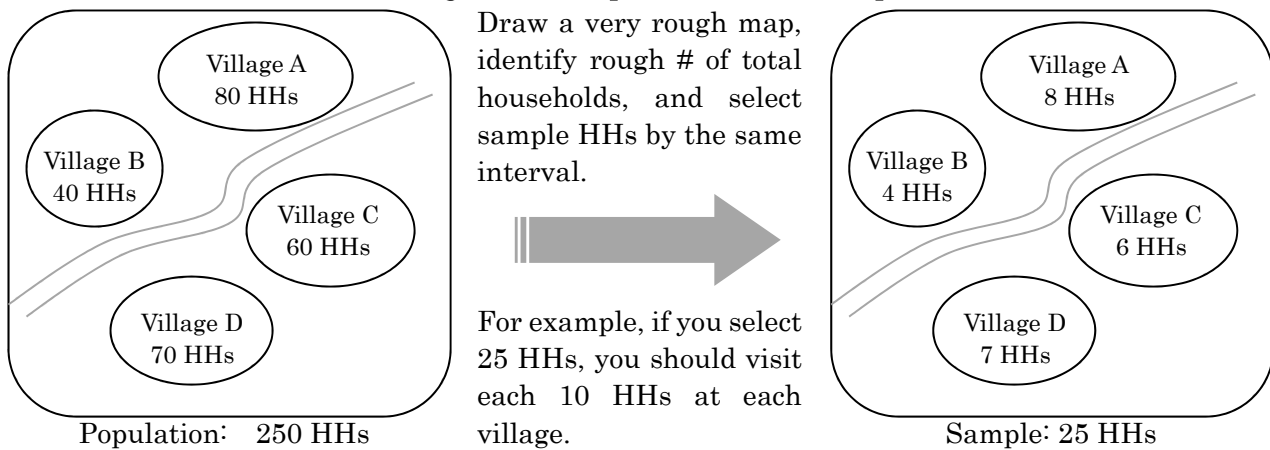


Figure2: Image of selection of sample HHs by the same interval

7. Assignment

The number of household interviewed depends on the number of your field team. (It is acceptable to employ members of local NGO by small payment. Actually it is a good way to increase # of interviewers.)

Total # surveyed(a)	25 household surveys	30 household surveys
# of officials in a team(b)	5 officials	6 officials
# surveyed/day (=a)/(b)	5 HHs/day (=25/5)	5 households/day (=30/5)

8. Schedule

Rough schedule of Mini Survey is as follows for each official. You can customize it...

Time	Example 1	Example 2	Your case
Morning (9:00-12:30 (3.5hrs))	Preparation: 0.5 hrs	Survey: 1 hrs x 2 HHs	
Afternoon (13:30-16:00 (2.5 hrs))	Survey: 1 hrs x 3 HHs	Compilation: 0.5 hrs	

9. Interview items

- First, explain the purpose of visit and tell it would take less than one hour.
- Second, assure an interview result not to use for any punishment/taxation/etc.
- Interview the following items by using the following written form.

(i) "How do you see the implementation of the project?"	
Rating: Well implemented(4) –Implemented (3) – More or less (2) – something failing (1) – Totally failing (0)	
Comment:[]
(ii) Intermediate outcome	
How much did your production before the project started (FY 20XX). [NRs]
How much did your production After the project started (FY 20XX). [NRs]
(iii) Final outcome	
How do you rate your family welfare before the project started (FY 20XX) [Rate:]	
How do you rate your family welfare After the project started (FY 20YY) [Rate:]	
(iv) Other Final outcome: "Do you see any other final outcome on your life standard due to the project?"	
Comment:[]
[] ..more
(v)"Do you have any idea of future improvement of the project?"	
Comment:[]
[] ..more

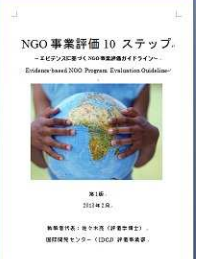


10. Data input and analysis (after you go back to your office)

- Use MS-Excel for data input
- Make descriptive statistics with histograms.
- Conduct some statistical tests (before-after t-test, etc) if it is necessary.
- Make an analysis report with charts (also the list of data should be attached as annex).
- Please make sure names of interviewed are anonymous. (In this case, simple serial # is used for Household ID (HH_ID)).



	A	B	C	D	E	F	G	H
	HH_ID	(i)_Implementation(rate)	(ii)_Effect_before_(NRs)	(ii)_Effectiveness_after	(iii)_Impact_before(Rate)	(iii)_Impact_after(Rate)	(v)_Other_impact	(v)_Idea_improvement
1	1	4	12,000	23,000	3	4	"I built a house"	"Use steel part"
2	2	3	15,000	16,000	2	3	"Nothing"	"Monitor water level"
3	3	4	9,000	17,000	3	4	"I bought a car"	"Reduce fee"
4	4	3	5,000	9,000	4	4	"I built a house"	"Increase the area"
5	5	2	4,500	12,000	2	4	"Dignity increased"	"Prohibit stone collection"
6	6	4	16,000	14,000	2	3	"Nothing special"	"Project water source"
7	7	3	7,000	8,000	1	2	"Nothing special"	"More M&O activities"
8	8	2	11,000	12,000	2	2	"I got a job"	"No idea"

Figure3: Image of data input by Excel

参考文献

 <p>NGO 事業評価 10 ステップ。 —エビデンスに基づく NGO 事業評価ガイドライン— Evidence-based NGO Program Evaluation Guidelines</p> <p>著者 2013年7月</p> <p>編集者 国際開発センター (IDCJ) 評価事業部</p>	<p>国際開発センター評価事業部(2013)</p> <p>『NGO 事業評価 10 ステップ—エビデンスに基づく NGO 事業評価ガイドライン—』 IDCJ 評価事業部のウェブサイトからダウンロード可能。http://www.idcj.or.jp/9evaluation/</p>
 <p>NGO インパクト評価 10 ステップ。 —小規模事業インパクト評価ガイドライン— Impact Evaluation Guidelines for Small Program</p> <p>著者 2013年7月</p> <p>編集者 国際開発センター (IDCJ) 評価事業部</p>	<p>国際開発センター評価事業部(2013)</p> <p>『NGO インパクト評価 10 ステップ—質問票とエクセルの操作手順付きですぐ使える小規模事業インパクト評価ガイドライン—』 IDCJ 評価事業部のウェブサイトからダウンロード可能。 http://www.idcj.or.jp/9evaluation/</p>
 <p>評価論理 【評価学の基礎】</p> <p>著者 2010年</p> <p>発行所 多賀出版</p>	<p>佐々木亮 (2010) 『評価論理：評価学の基礎』多賀出版</p>

執筆者たちの紹介

<p>著者</p> <p>佐々木亮</p> <p>国際開発センター (IDCJ) 評価部主任研究員</p>		<p>NGO セミナー企画・運営 & ガイドライン編集担当</p> <p>小室雪野</p> <p>国際開発ソリューションズ ／日本評価学会研修委員</p>	
<p>最終学歴：</p> <p>ウェスタンミシガン大学評価研究所 評価学博士 ニューヨーク大学ワグナー公共行政学大学院 公共行政学修士 (公共政策分析)</p> <p>専門分野：</p> <p>評価論理、統計分析、NGO 評価</p> <p>論文・出版物：</p> <p>「評価論理：評価学の基礎」 (2010)、「エクセルで政策評価」(2007)、「政策評価トレーニングブック」(2003)、「政策評価の理論と技法」 (2000, 2004 増補改訂版)、その他の調査報告書多数</p> <p>Dr. Ryo SASAKI</p> <p>< Academic Background ></p> <ul style="list-style-type: none"> - Ph.D. in Evaluation, the Evaluation Center, Western Michigan University - Master of Public Administration (Public Policy Analysis), New York University <p>< Current position ></p> <ul style="list-style-type: none"> - Senior researcher, IDCJ - Adjunct Professor, St. Paul's (Rikkyo) University - Adjunct Professor, Osaka University 		<p>最終学歴：</p> <p>東京 YMCA 英語専門学校 法政大学経済学部 (通信教育課程) 中退</p> <p>専門分野：</p> <p>ODA 評価、評価研修の企画・運営</p> <p>論文・出版物：</p> <p>「日本評価学会「評価士養成講座」の実施：評価の専門能力の認証制度の確立に向けて」(2012、共著)、その他の調査報告書多数</p>	